

6/19 の県リーグ第 2 節の結果報告です。

この日の相手は富士ソフト。

前年度においてリーグ 3 位のチームあり、去年は 0-2 で敗れている。

苦戦が予想されたが、結果は 2-0 で見事勝利！

今シーズンの県リーグ初勝利を得ることができた。

前半

フォーメーションは 4-4-2。

GK：宇野。

DF：センターに大木進、餌取。右に山田、左に前田。

MF：ボランチに国安、藤倉。右のオフenseに佐藤良、左に人見。

FW：東、小松野。

立ち上がりは相手のペースで試合が進む。

自陣で相手にボールをキープされ、何本かシュートを打たせてしまう。

ミドルレンジからのシュートが殆どであったが、悪い流れがしばらく続いた。

相手チームが 3-5-2 であったため、中盤で常に数的不利となっていた。

そこで、前半 20 分辺りから、ボランチの守備時のポジションを修正。

人を捕まえるのは程々にして、中盤真ん中のスペースを埋めることに注力した。

これにより守備が安定。相手がボールを持つ展開は変わらないものの、

立ち上がりとは違ってシュートまで持っていかせない。

一方攻撃はというと、何度かサイドを崩して相手陣内に攻め込むものの、

決定的なシーンを作るまでには至らない。

前線の東と小松野が孤立する場面が目立ち、効果的な攻撃を繰り返せない。

両チーム共に決め手を欠き、前半は膠着状態のまま 0-0 で終了した。

後半

攻撃時の組み立てをスムーズにするため、小松野の東の少し後ろに下げた。

これにより、4-4-2 と 4-5-1 の中間のようなフォーメーションとなる。

後半は立ち上がりからこちらがペースを握る。

小松野が少し下がり目のポジションを取り、人見と良太はサイドに張り付く。

これにより、前半よりスムーズにボールが回るようになった。

後半 10 分、前田 OUT。木村 IN。

木村はボランチに入り、国安は左サイドバックに下がった。

その後は相手 3 バックのサイドを何度も人見が突き、相手 DF を混乱に貶める。

その中で東と人見が共に 1 回ずつ GK との 1 対 1 を迎えるが、これは決めきれず。。。

そして後半 15 分、執拗に左サイドから相手ペナルティエリアに攻め込む。

この一連の攻撃に耐え切れなかったのか、相手 DF がエリア内でハンドを犯し PK！

この PK を、東がインステップで右サイドに思いっきり蹴りこんでゴール！

待ちに待った先制点を取ることに成功した。

その後、人見 OUT。久米 IN。

久米は FW に入り、小松野が左のオフenseに下がった。

後半 20 分辺りから相手はバテてきたようで、次第に攻撃に鋭さが無くなっていく。

それでも相手が点を取りに来たため、基本は相手がボールをキープする展開が続く。

ここで、DFラインの4人がしっかりと連携を取り、ゴール前にブロックを形成する。相手のシュートは強引なミドルシュートばかりで、ゴールの可能性は感じられない。ただ、一度だけペナルティエリアまで持ち込まれてシュートを許してしまったが、ここは宇野が見事にセーブ！ 宇野の高い集中力が光った場面であった。その後も相手の攻撃を確実に跳ね返す。また、ボールを奪った後は無理に前に行かず、木村と藤倉を基点にボールを回してじっくりと攻める形をとった。後半25分、東OUT。井上IN。井上はそのままFWに入った。時間が経つにつれて、相手はどんどん前に出てくる。しかしチャンスは作らせない。後半35分、DFラインからのロングボールを久米がヘッドで斜め後ろに流す。このボールに反応した井上が抜け出し、GKとの完全な1対1に！冷静にGKの脇下を右足インサイドで抜いて追加点！！相手が攻めに出た裏を見事についた、久米と井上のコンビが光ったゴールであった。その後、藤倉OUT。増田IN。増田はそのままボランチに入った。残り5分は試合を終わらせにかかる。相手陣内のコーナーフラッグ付近でボールをキープして時間を稼ぎ、試合終了。嬉しい嬉しい、2-0の県リーグ初白星となった。

総括

開幕戦での嫌なイメージを払拭する、理想的な勝利であった。この日はチーム全員が落ち着いた試合運びを見せてくれた。前半の悪い流れの時はしっかり守って耐え、後半にペースを握り返した。特に、1点とった後の試合運びは完璧の一言に尽きる。こんなにも大人のゲームができるのかと、当事者ながら感心してしまった。開幕戦でのドタバタ劇が嘘のような、この試合の出来であった。試合の入り方としては、攻撃・守備ともに決してよくなかった。しかし、攻撃は後半立ち上がりから、守備は前半20分から立て直した。悪いところを試合中に修正できたことにチームの成長を感じ取れた。個人的には、前半20分以降は点を取られる気がしなかった。攻撃も特に後半はいい形を作っていたし、0-0で推移している場面でも全く負ける気はしなかった。もちろん、修正すべき点はいくつもある。ディフェンスラインからのパスミスは減らさないといけないし、今日はラインを少し下げすぎな感も否めなかった。攻撃に関しても、FWが孤立する場面をいかに作らないかを考えなければならない。前線4枚の、攻撃時のポジショニングも気になるところだ。だが、この試合は合格点をあげられるだろう。今日のような試合運びを見せれば、今年はまだまだ勝てるはず。次の試合もチーム一丸となって頑張りたい。

次回の県リーグは7/24と、少し間が空きます。

もっともっとチーム内の結束を高め、より良い結果を出せるよう頑張りましょう！